



4-1 大火に負けない消防力の強化プロジェクト

目的	防火教育や器具等の設置を推進して火災を未然に防ぐとともに、自主防災組織など地域住民も含めた消火訓練等による地域防災力の向上により、初期消火体制の強化を図る。また、被災地をはじめとする密集市街地での延焼拡大にも対応できる消防水利等の基盤整備を行い、総合的な消防力の強化を図ります。
主な施策	<ul style="list-style-type: none"> ① 住宅用火災警報器（連動型含む）の設置推進（1-11） ② 初期消火体制の強化（1-15） ③ 常備消防及び消防団の初動体制の強化（1-18） ④ 関係機関、団体との応援協定の締結（1-19） ⑤ 強風時における飛び火対応の強化（1-20） ⑥ 大型防火水槽の設置（1-9） ⑦ 海水や用水など自然水利の活用（1-10） <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>大火時の奴奈川用水</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>消防団員の合同訓練</p> </div> </div> <p>※施策名の末尾（ ）は第5章の施策番号</p>
実施主体	住民、自治会、事業者、市(消防団)、自主防災組織

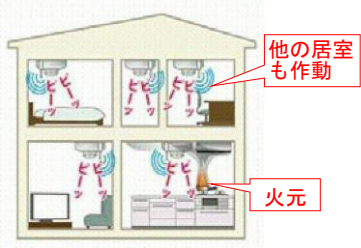
■計画スケジュール

年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
施策名	計画期		整備期		展開期
①住宅用火災警報器(連動型含む)の設置推進	モデル地区設定	連動型火災警報器の設置推進			
	補助制度新設		住宅用火災警報器の設置推進		
②初期消火体制の強化	初期消火資機材の整備		自主防災組織などへの操作訓練		
③常備消防及び消防団の初動体制の強化	消防団の再編	出動体制検討	装備品配備、訓練実施		
④関係機関、団体との応援協定の締結	協定締結		協定締結団体との訓練の実施		
⑤強風時における飛び火対応の強化	個別訓練		総合訓練	個別訓練	総合訓練
			要領見直し		
⑥大型防火水槽の設置	整備計画策定・設計	工事			
⑦海水や用水など自然水利の活用	整備計画策定	設計・工事	工事		

※ 計画スケジュールは、現段階で想定する手順を示したものです。


【①補足説明】 住宅用火災警報器（連動型）

【 住戸内連動 】



住戸内の他の居室の警報器も連動して作動

【 住戸間の連動 】



隣接する住戸間で警報器を共同設置。火元以外の住戸も連動して作動

※イラストは、糸魚川市大規模火災を踏まえた今後の消防のあり方検討会報告書から引用

【⑤補足説明】 強風時における飛び火対応の強化

- 「強風時火災防ぎよ要領」に基づく訓練の実施
 - ・ 飛び火警戒のための消防職員、消防団員の配置
 - ・ 延焼を食い止める阻止線の設定
 - ・ 有効な放水圧力や角度、射程距離などを規定
- 映像等による飛び火警戒
 - ・ 可搬式の映像伝達装置を用いて飛び火を警戒



映像伝送による飛び火警戒



【⑦補足説明】 海水等の取水配管システムのイメージ

可搬ポンプで海水等を吸い上げ、地下埋設管を通して防火水槽に圧送する。地下埋設管を複数の防火水槽に接続することで、広範囲に送水が可能。

